

# 平成 22 年度大磯町教育委員会第 2 回臨時会会議録

1. 日 時 平成 23 年 1 月 26 日 (水)  
開会時間 午前 9 時 00 分  
閉会時間 午前 11 時 30 分
2. 場 所 大磯町役場本庁舎 4 階委員会室
3. 出席者 岩 井 喜久枝 委員長  
竹 内 清 委員長職務代理者  
大 橋 伸 明 委員  
曾根田 眞 二 委員  
二挺木 洋 二 教育長職務代理者子ども育成課長  
林 正 人 子ども育成課主幹  
大 隅 則 久 子ども育成課子育て支援室長  
松 本 卓 次 生涯学習課長  
山 口 章 子 生涯学習課図書館長  
佐 川 和 裕 生涯学習課郷土資料館長  
山 口 信 彦 子ども育成課副主幹
4. 傍聴者 0 名
5. 付議事項  
議案第 18 号 平成 23 年度当初予算における教育委員会予算要求について
6. その他

## (開 会)

出席委員が 4 名で定足数に達しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定により定例会は成立し、現時点で傍聴人はおりませんが、以降傍聴人が見えた場合は、大磯町教育委員会会議規則第 14 条及び第 19 条の規定により傍聴を許可します。

## 議案第 18 号 平成 23 年度当初予算における教育委員会予算要求について

書記が議案を朗読し、教育長職務代理者から提案理由の説明を行った。

子ども育成課長) 私の方から予算全体の話しをさせていただきます。詳細につきましては、資料に基づきまして担当より説明いたします。平成 23 年度一般会計予算ですけれども、93 億 7 千万円でございます。前年度より 7 億 7 千万円ほど増額になっており、率にしますと 8.9%の伸びとなっております。主な事業と

いたしましては、月京町営住宅の建設が約3億円、平塚市と二宮町とのごみ処理広域化の負担金が2.4億円、ハード的整備では、台町公民館の建直しがあります。それと子ども手当の関係、その他いろいろな医療費等の扶助費の増ということで前年度費8.9%の増となっております。

教育費関係につきましては、スポーツ関係、保健体育費を除いた平成23年度当初予算教育費の総額は、7億4,669万3千円となり、前年度との比較につきましては、約8,900万円の増額となります。これにつきましては、今年は投資的事業が設計関係のみで工事がなかったため、例年に比べて低い予算でしたが、来年度は、国府中学校グラウンド整備の工事、大磯中学校グラウンド改修の設計が認められましたので、約8,900万円の増となっております。説明資料の7ページ目をご覧ください。これは、教育費の近年の推移ということでございます。人件費、真中が投資的事業、それと経常経費になります。平成21年度の投資的事業は、たかとり幼稚園新築、国府中学校の改修、国府幼稚園の改修といった大きなものがありましたので、かなりの投資的経費もありましたが、昨年は、改修等についてはなし、来年度は、国府中学校グラウンド改修により94,544,000円となっております。

子育て関係の予算につきましても説明させていただきます。子育て関係は、児童福祉費となっております。小児医療、ひとり親医療ですとかは、児童福祉総務費に入っております。児童措置費は、前の児童手当、今の子ども手当が入っております。保育園の運営費、町外の保育園に払っている委託料などの保育園関係が保育園費となっております。児童福祉施設費は、今は子育て支援総合センターの運営費となっております。以前、平成19年度に38,000,000円ありますが、これは国府学童施設の建設によるものです。児童福祉費につきましては、医療の助成費、子ども手当、保育園という状況になっておりまして、昨年度から始まりました子ども手当が増えている状況であります。今年度につきましては、保育園関係でサンキッズ大磯への整備補助が増えておりますし、同時に入所に伴う20人定員増の措置費も増えている状況にあります。以上、簡単ではございますが、教育委員会関係の平成23年度予算概要の説明とさせていただきます。各個別については担当より説明いたします。

子育て支援室長) 資料の1ページ、子育て支援室関係の予算要求につきましても説明させていただきます。まず児童総務福祉費ですが要求額が157,523,000円、前年度予算額が150,253,000円となっております。比較をして7,270,000円の増となっております。事業内容としましては、昨年度と同様小児医療費の助成、子育て支援総合センターの事業運営及び放課後児童健全育成事業等となっております。なお、今年度9月補正により予算化した横溝千鶴子氏からの寄附金を原資として横溝千鶴子記念子育て支援基金を設置したことによる利子の積立について予算計上しております。また、11月定例会での予算要求資料から大きく変わったところとしましては、放課後子どもプラン事業の大磯学童保育所の委託料の予算要求が減額となったことです。これは、大磯学童の利用人数の増加それに伴う県補助金の支給要件により当初2箇所分割して予算計上をしましたが、1箇所での運営が可能になったことにより1箇所分の委託料等が不要となったものです。次に児童措置費ですが要求額が627,607,000円、前年度予算額が514,178,000円となっております。比較をして113,429,000円の増と

なっております。内容としましては、子ども手当の支給にかかるもので、3歳未満児は月額20,000円、3歳以上児は月額13,000円となっております。11月定例会での予算要求資料から大きく変わったところとしましては、当初3歳未満児の支給額は月額13,000円だったものが、政府の方針により月額20,000円に増額されたことにより予算額が増えたものです。次に保育園費ですが要求額が345,056,000円、前年度予算額が277,528,000円となっております。比較をして67,528,000円の増となっております。内容としましては、国府保育園の運営費、民間保育所の入所者に対する運営費の委託及び補助、町外の保育所の入所者に対する運営費の委託及び補助等という内容となっております。待機児童対策として「5. 保育所の待機児童解消のため、町内民間保育所の増改築を行い入所定員の拡大を図る、改修費に係る補助金」を改めて計上しております。11月定例会での予算要求資料から大きく変わったところとしましては、当初平成23年度での完成を予定しておりましたが、平成23・24年度の2ヵ年での整備となったため、出来高の見込で分割したため減額となったものです。次に児童福祉施設費ですが要求額が1,735,000円、前年度予算額が6,018,000円となっております。比較をして4,283,000円の減となっております。内容としましては、子育て支援総合センターの維持管理が主な経費となっております。次に幼稚園費ですが要求額が163,999,000円、前年度予算額が177,121,000円となっております。比較をして13,122,000円の減となっております。内容としては、町立幼稚園4園の運営、維持管理に関する経費、私立幼稚園に関する就学援助費となっております。昨年度より減額となっておりますが、これはたかとり幼稚園の整備が昨年度で完了したためその費用分の予算要求が減額したことによるものです。子育て支援室関係の計といたしましては、要求額が1,295,920,000円、前年度予算額が1,125,098,000円ということで170,822,000円の増額となっております。

子ども育成課主幹) 引続き、子ども育成課関係の補足説明をさせていただきます。資料の2ページと3ページをお開きください。11月に「予算要求しております」とお話ししたものと今回最終的な要求額を比較して経緯について説明いたします。今年度の要求項目の中で、新規事業や主な事業についてご説明いたします。まず、予算科目の教育総務費でございますが、前年度比較で9,893,000円の増でございます。11月に要求したもので3番の事業に含まれる内容ですが、小学校の新たな教科書採択に伴い教員用の教科書及び指導書の購入のための予算を要求しておりました。結果的にその予算につきましては、23年度予算では付かなかったのですが、必ず必要になるものですから財政課との協議の中で、できれば4月に使いたいこともありますので、次年度予算ではなく、今年度補正予算の方で計上させていただくことになりました。次に5番の中に含まれています教育支援員の配置の関係でございます。11月の時点では、今年度、幼・小・中併せて31人の配置から、3人増と時給ベースでも若干増やした形で予算要求しておりますとお話ししていましたが、財政事情も厳しい中、時給ベースでは、850円の現状維持の中で、全体額の微増ということで回答をいただいております。財政の方からも足りなくなったら補正予算対応でということですので、事務局といたしましては、増員、時間数も増やした形で年度が明けましたら幼・小・中に支援員をそのような形で活用していただきたいことを伝えていき、

足りなくなったら補正予算をお願いしたいと考えております。次に7番になりますけれども教育研究所事業の中にありますが、来年度、社会科副読本の改訂と磯の生物のガイドブック作成に係る予算を計上しておりましたが、社会科副読本に関しましては、予定どおり来年度改訂版を印刷製本できる予算が付きましては、もう1年先送りになりました。次に8番になりますけれども学校図書館の整備事業でございます。こちらにつきましては、2年間、小学校、中学校、生沢分校を含めて図書整備ということでかなりの額の整備をしてきました。本年度なみの予算要求をしている中で、国の補正予算の関係で「住民生活に光をそそぐ交付金事業」を活用して今年度の補正予算で学校図書関係の整備ができるということで、今のところ小学校に900,000円、中学校に700,000円、生沢分校に300,000円ほど今年度の補正予算で対応するというので、来年度予算に消耗品費は含まれておりません。今年度の補正予算となりますが、この予算につきましては、次年度に今年度同様の形で使用できるものでございます。次に小学校費と中学校費につきましては、共通の事業もございまして一括でご説明いたします。児童生徒用のパソコンでございますが、小学校費では3番、中学校費でも3番になりますが、11月の時点では、新規の借上げ料で計上しておりましたが、こちらにつきましては、リースが切れるのですが再リースということで対応していただきたいとのことでした。小学校費の4番になりますけれども小学校1・2年生に導入しております35人学級編制に伴う非常勤講師の配置につきましては、国の動向を見ますと、ここで法改正が行われて小学校1年生については、ほぼ35人以下学級を実施することで進んでおります。そういう方向性はありますけれどもそれはそれとして大磯町といたしましては、引続き小学校1・2年生につきましては、35人以下学級に伴う非常勤講師を配置していくということで、国府小学校は1、2年生、大磯小学校は2年生計3名分の非常勤講師の報酬を予算計上しております。小学校費の11番でございますが、今年度中学校に整備した校務用パソコンでございます。11月の時点でも要求していましたが、中学校費の9番にもございますが、これは生沢分校の校務用パソコンですが併せて整備するものでございます。それから工事関係になりますが、幾つか新規で予算要求していたものからここでは入っておりませんが、小学校の学校プールにつきましては、前回定例会でもご説明いたしましたが当初予算では外されましたが見通しがついた時点で次年度の補正予算に計上することになります。それから設計委託関係では、大磯小学校のグラウンド改修と体育館は耐震の調査を含めた形で予算要求しておりました。それと国府小学校の大規模改修を設計委託で予算要求していましたが、この中で予算が認められたのは、大磯小学校のグラウンド改修にかかる設計委託になってございます。それから小学校費、中学校費ともに夏の暑さ対策ということで、各教室に扇風機の設置をという予算要求しておりましたが、こちらにつきましては、見送られた状況になっております。国府小学校の北側フェンス、大磯小学校の手摺の補修工事は、当初予算で整備したいと要求しておりましたが、先程の国の補正予算の中で「きめ細やかな交付金」を活用して国府小学校の北側フェンスと大磯小学校の手摺の補修工事を今年度の補正予算でやる予定でおります。最後に中学校費の10番、こちらが国府中学校のグラウンドの改修工事でございます。こちらにつきまし

ては、認めていただけたので来年度工事に入ることとなります。子ども育成課関係につきましては、以上となります。

生涯学習課長) 資料の4ページをご覧ください。生涯学習課に関する予算要求でございますが、はじめに、社会教育費につきましては、予算要求額としまして20,432,000円となっており、前年度予算額は20,217,000円で、比較いたしますと215,000円の増となっております。主な理由は、生涯学習推進計画策定と文化財調査報告書作成のための準備経費が増となったことによるものです。右側の主要事業等の要求内容でございますが、事業ごとに経常経費に多少の増減はございますが、総合計画や基本方針に基づき、引き続き事業展開を行うとともに、生涯学習関連事業につきましては、ライフステージに応じた各種講座などの充実を図ってまいります。

図書館長) 資料の5ページをご覧ください。図書館に関する予算要求です。はじめに、労働費として2つの基金を活用した事業で、事業内容としましては、1番目は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して所蔵マイクロフィルムを電子化し、利活用を図ろうとするものです。2番目としましては、「ふるさと雇用再生特別交付金」を財源に、図書館窓口等業務委託を行うものです。(株)有隣堂に委託をし、交付金活用の最終年度となる23年度末まで、サービスの充実と効果的な運営を行ってまいります。次に社会教育費でございますが、予算要求額は74,207,000円で、前年度予算額は68,643,000円で、比較いたしますと、5,564,000円の増となっております。増額の主な理由としましては、職員給与費の増によるものです。主要事業等の要求でございますが、施設につきましては、各種設備の点検と改修工事を行い、良好な環境の維持を図ってまいります。また、23年度で交付金活用が終了する「図書館窓口等業務委託」につきまして業務検討を行い、選考を進めてまいります。子どもたちの読書推進につきましては、今年度末に策定予定の第二次計画に基づく事業の推進を図ってまいります。11月との変更点は、4番事業における図書資料費の減、新規図書館整備事業における修繕費の一部減です。

郷土資料館長) 6ページですが、要求額が40,956,000円、前年度の予算額が46,633,000円、前年度との比較が5,677,000円の減額となっております。主な減額の理由ですが、3番目の郷土資料館の運営に関する経費、この中で常設展示室に展示してあります大型展示物、1年おきに御船祭に搬出入されますが平成23年度は搬出入がありませんのでその分の委託料が減額したものです。4番目の郷土資料館の維持管理に関する経費でございますが、1年おきに資料の防虫・防カビのための燻蒸の為の作業を行っていますが、平成23年度はないので、その分の差額がございます。11月にお示ししたものと大きく変わった点は、リニューアルの実施設計が見送られたということです。平成22年度に基本設計を行ってございまして、工程の中では平成23年度に実施設計を考えておりましたが見送られたという状況となっております。この部分が減額となっております。

(質疑応答)

曾根田委員) 今日、議案で付議されて基本的にこれで決まりという話ですよね。11月の定例会等でヒアリングして教育委員も含めて教育委員会の総意として、当初の要求をさせていただいて、それを踏まえて財政課や町長との予算折衝の中で、

このようになったと思いますが、言葉悪く言うと教育委員会総意の予算要求でこれをぜひやりたいとあげているのですが、やりたいことも査定されていますが、それに対して復活折衝とかはやられたと思いますがその辺はどうですか。

教育長職務代理者) 11月の定例会に係りまして予算をあげたということで、予算の財政課とのヒアリングが11月の下旬に行われました。その間に町長選がありまして、その中では一時的には骨格予算になるのではないかという話もございまして、予算の説明等を1月6日、7日で第1次査定ということで、新しい町長でするので事業内容についても詳しく説明させていただいて、折衝を行ったのですが、その後、小さい事業につきましては、各担当課と財政課との交渉がございました。大きい事業につきましては、それぞれ個別に、例えば、学校プールであったりとか、教育委員会事務局としてこれをやっていきたいということで各々事業説明をいたしました。財政の方もなかなか難しいということがございましてギリギリまで例えば、サンキッズの補助については、1回は認めていただいたものが再度、駄目になったりとか行ったりきたりというのが現状でございました。1月13日の国府中の件がございました時にこのような状況ですという説明はさせていただきました。それですら行ったり来たりの状態でしたので出来るだけ早く固まって教育委員さんに報告をする予定でしたけれども、子ども手当等は21日に決まりまして、この資料もようやくできた状況でございます。

曾根田委員) 自治体に置ける予算折衝の関係の流れについては知っているつもりです。その辺のやり取りがいろいろあるのは承知の上で質問させていただきました。厳しく、冷たくいうと過程はいろいろありましてこうなりまして、こうなりますよというのなら定例会で十分でないかなと思いました。だから、我々も含めて教育委員会と一緒にぜひこれをやりたいという話のもとでやった予算ですので、ちょっと残念かなと思いました。議案での提案であり審議の場と考えるが、修正もきかず、単なる報告にすぎず、これを承認するというなら、定例会での報告でよく、あえて臨時会で無くっても良いのかなと思います。冷たくいうとですが。過去に例はないと思いますが教育委員との折衝も良いのではないですか。

教育長職務代理者) 復活折衝の内部的な中でも教育委員会を事務局が代表いたしまして小学校のパソコンなどは一度切られましたが、それについては去年との約束がありますし、教育委員さんの強い要望もありまして、ぜひお願いしますということで全部が全部ではありませんが折衝の中でもある程度強い要望は言って財政の方には言うていただきました。それで毎年そうですがこのタイトなスケジュールの中でヒアリング、復活折衝、その間の付いたり付かなかったりの中で、どの時点で教育委員さんにお話して良いのかというのがありまして、やはり確実な数字が固まらないうちにこういった定例会や臨時会を行うのは難しいということで本来ならば1月の定例会で付議ですが、その時点ですとまだ数字が動きそうでしたので、今回は臨時会でやらせていただきました。

曾根田委員) それを理解している上であえて言わせていただきました。我々としては結果云々よりも現在こうなっていてここは厳しいそうですとか言う過程の議論が大事だと思います。きちんと一緒になって悩んで考えてやっていくものだと僕は思っているのも過程の議論が大事で結果はしょうがないというのもあ

と思うのでなるべくそういったゼロ査定になりそうなのでどうでしょうかという話があっても良いと思います。では、個別に聞いていきたいのですが、例えば説明資料で子育て支援室からお聞きしたいのですが、放課後子どもプラン事業の関係ですが、1月14日に町長の対話会があって町長は放課後の児童健全育成とか安全な場所の確保とか人生の達人との交流を促進したいと話がありました、金額はそんなに増えていないわけですよね。その辺はどうなのか町長に聞きたい。

子育て支援室長) 現状からいいますと当初の予算要求からは下がっておりまして、これは先程、ご説明させていただきましたが、大磯学童の入所者数が今年度より増えておりまして、来年度につきましては、2つに分ける必要はないかということで委託料を大磯学童2箇所、国府学童1箇所ということで3箇所で要求させていただいた中で、町長も学童に対してお考えがありまして、その中で人数的な問題や県からの補助金等で3箇所にする必要が無くなったことが1点とスペースの問題につきましては、今まではPTA会議室も大磯学童の方に開放するというので、人数が多くなったことに対しても凶られましたので、補助金の関係と場所の関係が確保できたということで、予算については当初の要求から見ると減額ですが場所を分けずに1箇所できるということも学童保育の保護者にしてみれば、本来は1箇所の方が良いということが言われていましたので、分けずに済んだということと、それに対する場所の確保がなされたということは町長の施策もありましたのでそのような確保ができたと考えております。

曾根田委員) 物理的に十分確保できる。例えば、人生の達人という人との交流の話とかは出ていましたか。

子育て支援室長) その話については、この予算上では具体的な内容にはなっておりません。私もその話をどう反映していくかは指示を受けていない状況です。これから話を聞く状態です。

曾根田委員) 非常に町長の思い入れが強かったので敢えてお伺いしたのですが。

教育長職務代理者) 町長の思い入れは学童保育とか放課後子ども教室とか全体の生涯学習も含めた、左義長の飾りの教室のように学校の施設を使ってやったらどうかというお話もあると思いますので、その簡単なものなら放課後子ども教室でもできると思います。どんなものができるのか、どんな人がいるのかということは生涯学習課の人材登録をされている方を見ながらやっていきたいと思えます。これは前々から地域の方と一緒にという企画がありましたので、子どもたち対象ということでも考えていけたらと思います。

曾根田委員) 全体的に各項目、予算要求額、最終要求額との差が微妙に増減しているのは何かあるのですか。

子育て支援室長) 子育て支援室関係のところでは予算で扶助費というのがありまして、これは事業単位でとても大きいものでございます。財政の方で端数切りをしますのですそのような関係があって担当としては人数等を積算してだしていますので、補助金の申請等は端数を切られてしまうと調整がしづらい部分がありますが、この辺で何万円ということが出ている影響が強いと思います。

曾根田委員) 子育て支援事業で16万は大きいから質問しました。それから子ども育成課の関係ですが、学校図書館運営事業で23年度の教育方針案の中で23年度

の重点施策として取り組むとあったと思いますが、これは出ていますか。

子ども育成課主幹) 先程もお話させていただきましたが、ここ2年間、小中の図書費としてかなりの金額を充てていましたが、その消耗品に当たる部分を交付金で充てるということで、事業費全体では次の補正の分も加わればまかなえる額だと思います。

曾根田委員) 重点施策にあるのですか。

子ども育成課主幹) 学校図書の充実を図るというのは、主に図書の整備ということですね。

曾根田委員) もう1点良いですか。先程の学校教育振興事業の外国語の関係で重要性は聞きましたが、外国語教育が本格的に入りますが、財源が厳しいから査定しますということですが、そんな単純な話ですか。

子ども育成課主幹) 今、おっしゃられたのはAET関係の予算だと思いますが、それについては、今年度並みの予算がついておまして、この事業の中には様々な予算措置がされておりますので、当初予算で要求した中で1番大きいのは教科書採択の関係で教科書が変わりますので、新しい指導書や教員用の教科書の予算が当初予算では無く今年度の補正予算でということですので、それを加えると今年度並みの予算となつてございます。AETは予算的には増えてはいないのですが、方針としては小学校に重点的に活用していきたいと考えております。

曾根田委員) 学校プールは、ゼロ査定ですが、これはどうなったのですか。

子ども育成課主幹) こちらとしては設計業者は変わりますが、工事費を当初予算で要求していましたが、設計業者が変わるということは可能性として概算工事費も積算によっては多少変動する可能性もあります。新たに設計業者を変えるわけですので、万が一、大きな変更が無いとも限りませんので、大まかな見通しが付くのが年度を越えてからであろうということで、見通しが出てから補正で対応したいということです。

曾根田委員) 前回の定例会の時に説明がありましたが、設計業者が変わるけれども、こういう方向で進めて完成時期の変更はありませんという説明でしたが。

子ども育成課主幹) 来年度の早めに見通しが付いた時点で補正をあげますので、目標としては、当然24年度6月を目指した完成は変わっておりません。

曾根田委員) 年度を跨がないと見えないという話でしたが、それは来年度の1次補正で対応するのですか。

子ども育成課主幹) 来年度の6月か9月の補正になると思います。できるだけ早くの6月がベストだと思っております。

曾根田委員) お尻が決まっていて、それでやるというのは問題はないのですか。

子ども育成課主幹) あくまで目標はそこを目指してやりたいと思っております。

曾根田委員) 教育委員会として来年度の目玉としては書けないですね。確かに設計業者も変わって実施設計も変わるし、大きな変更もできるかもしれないと思いますが、基本的にはその予算で要求しておいて、増をした場合には補正でということなので、普通、1億や2億の補正って無いのでは無いのですか。

教育長職務代理者) 財源的に6月の補正というのは厳しいものがあります。財源よりも当初の計画通りということで、当初の計画に間に合うように設計の方も変更してやっていこうということで、当初、9月の議会で承認を貰って10月の運動会の後の工事というような計画を立てておりましたので、23年度と下水道が

繋がる 24 年度の 6 月くらいということで計画を立てていましたので、工期の方は概ね半年くらいでできる予定ですので、6 月を目処にすると 11 月頃の着工を考えておりますので、当初は教育委員会としても予算は付けて置いていただきたい、そうしないと設計、予算承認という形になってそれがないと補正予算が間に入ってくるので非常にきついというような話を理事者としました。一時はそのまま入れておこうという話になったのですが、またやはり見送りということで当初の財源の捻出なのかわかりませんが、担当としては出来るだけ早く設計をあげてできればその設計をあげた段階と 9 月の議会の中に臨時議会があれば、補正予算、承認という形で 10 月の着工にかなりきついですがそのようなスケジュールも出来なくはないと考えてございます。

曾根田委員) いろいろ言い訳にきこえますが、普通なら 2 億円の補正なんてあり得ないでしょ。本来ならそういった議論をやりたいのです。そういうところが大事だと思っけけれども、これだとしようがないという話になってしまっけでしょ。それから、今回の予算の中で学校給食の関係で検討費とかは入っていますか。

子ども育成課主幹) そのような予算は入っておりません。

曾根田委員) この前の対話会でも学校給食についていろいろとオーダーがあったと思いますが、それはまったく予算のかからない話ですか。

子ども育成課主幹) 町長とこの前、基本的な考えについて話をしましたが、順番としてはいろいろと保護者の意見を聞くことが最初の仕事かなと思っけしております。そのための会を立ち上げるのころから始めるということで、予算がどうのこうのという話ではないので、今のところは想定していません。

曾根田委員) ディベートみたいな形ですか。

子ども育成課主幹) どうしても視察等に伴って、旅費が伴うということにならないとも限りませんが、そういうのは適宜流用財源からやっていきたいと思っけいます。

曾根田委員) それは町長との話の中で出なかったのですか。

子ども育成課主幹) 今のところはないです。

曾根田委員) これに思いが強かったよね。ぜひやってくれって言っけたじゃないですか。今、おっけしゃったように検討会ならお金のかからないだろうけども、他の学校見に行くとか保護者とかも検討会には入るんでしょ。そういった費用が発生して来て、予備費を使うのかわかりませんが、本来はその検討のための費用は計上して置くべきじゃないですか。そのような方針ならしよっけがないですけれども。それから小学校の校内 LAN とかパソコンの関係は一部認められたのですか。

子ども育成課主幹) 全部です。

曾根田委員) それから今回の臨時基金でマイクロフィルムの PDF 化に 5,000,000 円上げていますが、最初からこれはありましたか。

図書館長) 11 月の時には図書資料整備事業の中に 3,000,000 円を業務委託で付けていました。それをここから外して 3,000,000 円から 5,000,000 円に増額になって特例金が活用になりました。

曾根田委員) それに絡めて緊急雇用基金事業は 22 年度なんですよ。22 年 11 月 24 日の大磯町の資料で 4 つあって 1 つは図書館のマイクロフィルムの PDF 化ですが、それと生涯学習課の文化材資料整備事業とありますが、文化財と資料の台帳整備、クリーニング、資料整備、これも入っていましたか。

生涯学習課長) 23年度はございません。

曾根田委員) 勘違いでした。図書館の件で施設整備はゼロになっていますが、これは厳しかったですか。

図書館長) 完成から図書館は28年経ちますが、2階のトイレの改修と雨漏り全般を予定していましたが、一部改修ということで維持管理の方に付けていただきましたが、大規模になる屋根の改修、全体的な設計については町全体の計画の中でやりたいということで今回はこのような形になっております。

曾根田委員) 郷土資料館の改修事業はゼロですが、前回の町長との対話会でもなぜ削減するのかという話をしました。資料館を含めて生涯学習館など町が持っている全体の施設で考えていますかという話をしたら考えてないという話だったので、説明不足だと思いました。再折衝して良いですかと言ったら待っていますという話だったのでその後どうなりましたか。

郷土資料館長) 現場の確認に来ていただきました。基本的な考え方であるとか展示物の移動だけではなくて、館全体の収蔵状況とかそういうところも見ていただいた中で現状は認識していただいたと思います。最終的には政策的な判断でこうなったのと思っております。

曾根田委員) 僕の思いれがあったのでやりたかったですけれどもしょうがないです。見に来られてどうだったかという過程の中の議論を本当はした方が良くと思いますけれども。

竹内委員) 曾根田委員から委員会の位置付についてお話があって、その後の曾根田委員とのやりとりを聞いていられれば本当の意図というのがあのような発言をされた本音の部分がおわかりになったのではないかと思います。今年度はいろいろと選挙等があって状況的には例年とは違った中での予算折衝だったので教育委員にも負担をかけさせたくないという気持ちもあってかこういう形になった訳ですが、教育委員として私も曾根田委員と同じなのですができれば一緒に作り上げて一緒に行動できないかなという思いはあります。ただ皆の都合を合わせるのも難しいと思うのでこのような形になったのかと思います。来年度以降の意見として聞いていただければと思います。今日はこういう形でやってこうなりますよということであれば、これをこっちに持って来てとかここを強化してという話ここではできなくなってしまう訳ですよ。ここに上がる前の段階で教育委員会としては、ここの部分はこうしたいとか決めさせていただいて折衝の場に臨むこともあり得ると思いますので来年度以降の参考にいただければと思います。町全体の予算が93億7千万円ですか。前年比8.9%の増、教育委員会のところでは7億6千万円で8千9百万円の増ということで、これは割合からすると10何%でトータルで見ると事務局の頑張りが数字だけ見ればそのようなことがいえるかなと思います。予算を立てると目玉が今年はこちらですよというのが教育委員会でいうと大きなハード的な部分がないというお話もありましたし、例えば、新聞の見出しにするならどんなのがあるか考えながら見させていただきました。23年度の目玉はこちらですよと教えていただければありがたいです。あと、細かい部分で先ほどの子ども育成課の関係で学校プールの問題は補正で対応というお話でしたけれども、国府地区の子どもたちにとってみると今までのような不便さを解消するためと安全面を考えた時にきちっと予算対応する中で計画どおり完成までもっていってもら

いたいと思います。確実に補正で対応できるように町長の方に働きかけてほしいと思います。それから来年度から小学校では学習指導要領が新しくなりますのでそれへの対応ということで教科書、指導書は補正ということですが4月1日から新年度のスタートから使えると捉えて良いのですね。学校に支障がない様に配布をお願いしたいと思います。教育支援員が31から34に3人プラスで計上したのにこれはどうなったのですか。

子ども育成課主幹) 11月の時には人数も31人から34人、時間数も増やしたい、単価も上げたいという3点セットで要求させていただきました。結果では今年度予算に比べて微増でしたが、担当者レベルで財政と話をする中で気持ちは分かったということで全体の予算との絡みもあってここだけポンと付けることはできないので単価は据え置きで時間と人数は増やす方向で足りなくなった時点で補正を上げる形で財政にも了解していただいております。

竹内委員) 教員のサポートのためにもぜひ支援員の要請があれば、それに応じていただけるといった形での対応が必要かなと思います。それから小学校の35人学級の非常勤講師も国が中々はっきりしない中で町で財源を確保したことはぜひそのようにやっていってほしいなと思います。要保護・準要保護生徒就学援助費が要求額より減額になっていますが、経済状況が回復に成りかかってまた低下したのが現状だと思いますが、どちらかという急激には良くなっていない見通しの中でこの減額は良いのかなと思います。

子ども育成課主幹) 先ほど、室長からあったように査定の根拠は1つとしては、今年度実績があります。この扶助費のようなものは査定されたからといって要綱を改正して減額とかではありませんので、要綱に従って申請が出たら該当する家庭には補助していきますので、今年度も3月補正で補正する予定ですので、足りなくなれば補正する予定です。

竹内委員) 扇風機関係が先送りになったということですが、去年のような猛暑があると緊急に遣らざるを得ないと思いますし、可能性は無くはないと思います。保護者等の要望やニーズはどうですか。

子ども育成課主幹) 昨日、校長先生方にもこの話をさせていただいたのですが、PTAの方からも当初こちらで予算要求しているということで、PTAの予算からもそのような話があったのだけれども、一旦は無くなったということですが、このような話になれば、またという話もありましたが、こちらとしては来年度の夏がどのような状況になるかわかりませんが、国も何らかの形で暑さ対策は考えているようですので、そのような形で交付金があればそれですぐ対応をしたいと思います。今、緊急にということもあったのでそのような状況であれば整備等も考えていきたいと思います。

竹内委員) 図書館事業整備事業が減額になっていますがこれは。

図書館長) こちらにつきましては、財政課との折衝でこのような状況の中で現状維持は難しいという話がありました。図書館の方で3月に補正対応で交付金がありますが、その中に学校の図書館との連携ということでパソコンの設置に関する連携事業とテーマ別の資料の整備という事業をあげまして、こちらの方で対応する形になっております。10,000,000円の10%減なので非常に厳しいところはありますが、精査等を行いましてやっていきたいと思います。12月の補正で子どものための寄付をいただきましたので、子どもの本につきまして、整備を

図ってまいります。

竹内委員) 国府中学校の北側のフェンスの改修は国の交付金で対応するという事すすけれども。

子ども育成課主幹) 先ほどの光をそそぐ交付金とセットで来たものなのですが、その中のきめ細やかな交付金については、こちらとしては次年度やろうとした物の中で比較的すぐできるものとして、これと大磯小学校の手すり設置工事とで手をあげさせていただきました。

竹内委員) どのフェンスですか。

子ども育成課主幹) 東側の駐車場のある部分の民家と隣接している北側のフェンスが錆びていたり穴が開いていたりする部分です。

曾根田委員) 国府小学校の下水道の関係の予算はどうなっていますか。

子ども育成課主幹) 1年見送られたということで、下水道の開始に合わせて工事をしたいと思っております。

大橋委員) ほとんど、曾根田委員と竹内委員に言っていたのですが、小学校の職員のコンピュータの整備がついたということで良かったと思います。学校プールはここに予算があるのとないのでは気分的に違うので残念ですが、改修をしたり大型な金額が絡んでくるものは23年度に着かなかつたら、24年度に実現できるように皆さんで力を合わせて要求して行きたいと思いました。

教育長職務代理者) 予算に関わりまして過程、過程のお話をということでしたが、大磯町は11月20日頃が予算の締め切りになります。最終的には1月中旬が予算の最終になります。この1ヶ月間の中にヒアリング等があります。昨年も教育委員さんからそのようなお話もありましたので、今年は12月に財政の査定が出た段階で日にちを設定しておりましたが、町長選の影響で予算審議がストップした状況でございました。職員も11月に出した予算でいくのか暫定的な予算で行くのか12月の一般質問までわからない状態でしたので、そこから慌てて財政課も動き出してヒアリングも年明けになってしまった状況でございました。来年は査定を受けた後、年内には1回教育委員さんには査定状況をお話した中で考えていただけるスケジュールにしたいと思います。それと竹内委員から目玉はというお話がございまして、子育てに関しては、待機児童対策の1つとして20床定員の保育園を増改築していくのが目玉になるかなと思います。教育の方については国府中学校のグラウンド、あとプールについては補正ということで教育方針の方では目玉にして行かないといけないと思っております。今年は厳しい予算状況で、これを最初に見た時は教育委員さんにどう説明したら良いのかと思いましたが、何とか復活の要求をしまして、修繕等も子どもたちの安全のためには遣らなければならないのですが、その辺は難しいということで、国から交付金等が出た時にはそれを活用して遣っていきたいと考えております。

曾根田委員) 今日、いろいろ言いますが、人が作ったものに対し、ああだこうだ色々言うのは簡単ですが、去年の第3四半期から考えられてここまでやってこれられてお疲れ様でした。

委員長) 質疑を打ち切り、討論を省略し採決に入ります。議案第18号については、原案のとおりでご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第 18 号 平成 23 年度当初予算における教育委員会予算要求については原案どおり承認いたします。

その他)

子ども育成課主幹) 2点報告させていただきます。すでに御承知かと思いますが、先週の1月21日の金曜日に国府中学校のB棟の北側の山で火災が発生いたしました。時間は14時10分、学校は清掃の時間でした、学校からも14時30分くらいに連絡が入りまして、私と課長の方ですぐに現場に向かいました。約1時間ちょっとで火そのものは鎮火しましたが、現在、消防、警察も出火の原因等を含めて調査を行っており、詳細は後日ということですが、消失した面積は約1,880平米で縦にずっと燃え広がっていった状況です。子どもたちはすぐにグラウンドに避難し、消化活動に教職員も参加した状況です。火が上に伸びて行った関係でホースが届かないということでホースを担いで斜面を上がって行った状況でした。その後、生徒については一旦教室に戻して下校させております。その後、連絡網で次の日からの活動は予定通りということをお伝えしました。校舎等学校の建物に被害はありませんでした。原因については、わからないという状況です。もう1点ですが、臨時議会の中でも補正予算で予算計上されて議会の中で承認されたのですが、子宮頸ガンのワクチンの無料接種ということで子宮頸ガン等緊急接種促進臨時特例交付金事業が補正予算で成立したことで町でもガン予防と子育て支援を推進する観点で当初は年度が変わったところでスタートという予定でしたが、中郡の医師会との関係で二宮町が先行して行うということもあって、大磯町も2月1日から実施したいということで担当課はスポーツ健康課になりますが、対象者が中学校1年生から3年生までの女子生徒となりますので、昨日、スポーツ健康課から校長先生方に説明していただきました。すでに保護者には郵便で御案内は郵送されています。1年間に3回接種が無料だということです。それ以外にも子宮頸ガンがどのような病気であるかのような予防が良いのかというパンフレットを学校に配っております。

竹内委員) 火事の時に保育園はどうだったのですか。

子ども育成課主幹) たかとり幼稚園の園児が帰った後でしたので、保育園児はたかとり幼稚園の方に避難いたしました。こちらから連絡したときは、すでに避難しておりました。

大橋委員) 消火活動をした先生からB棟3階の消火栓から水が出なかったとの話を聞きましたが報告は受けていますか。

子ども育成課主幹) 受けております。原因も含めて調査いたします。

(閉会)



会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成 23 年 2 月 16 日

委 員 長 \_\_\_\_\_

委員長職務代理者 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_